

関係者各位

### プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で57cells/mL、シャトネラ属が最高で1 cells/mL、ケラチウム属が最高で8 cells/mL確認されました。

カレニア・ミキモイが赤潮となるおそれがありますので、十分注意してください。また、海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

#### プランクトン(cells/mL)

調査地点	水深	水温(°C)	塩分	溶存酸素量(mg/L)	カレニア・ミキモイ	シャトネラ属	ケラチウム属
鳴無	2m	24.7	31.9	12.8	1	0	5
	5m	22.2	32.3	10.9	1	1	7
	8m	22.0	32.7	8.0	13	1	5
中学校前	2m	23.9	31.4	12.1	2	0	6
	5m	21.7	32.3	9.2	1	0	8
	8m	21.3	32.5	6.3	57	0	8
目ノクソ	2m	23.6	31.6	11.1	3	0	5
	5m	21.8	32.2	7.8	17	0	5
光松	2m	22.8	31.6	9.1	2	0	1
	5m	22.0	32.3	7.8	5	0	1
	8m	21.7	32.5	6.7	7	0	3

#### 漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ: 数百～数千cells/mL (魚類等のへい死)
- ・シャトネラ属: 10～100cells/mL (魚類へい死)
- ・ケラチウム属: 100～cells/mL (餌食いの悪化)

